

大津市立北大路中学校 「自主力行」「凡事徹底」



# 校長室だより

平成 23 年 (2011 年) 7 月 19 日

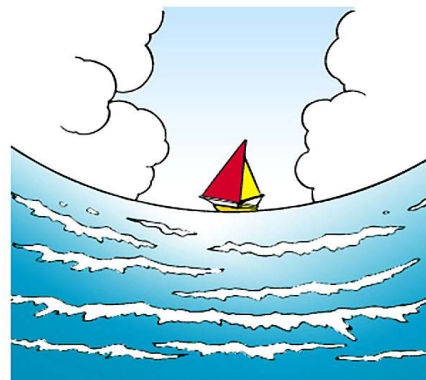
校長 山中 一仁

## 夏休みこそ『自主力行』の習慣をつける機会

明日で一学期が終わります。8 月末には、身近にある施設を利用し、ポート教室・ボーリング・プラネタリウムによる天文学習など、本校独自の取り組みとして体験的な学習が予定されていますが、生徒のみなさんにとっては待ちに待った約 40 日間の長い夏季休業になります。

「二学期以降に備えて夏休みをどう過ごすか」、このテーマの大切さについては、これまでも何度となく聞いていると思います。しかも、このテーマは「言うは易く行うは難し」というむつかしさがあります。夏休み終盤に何とか形だけ繕って実りの少ない夏休みになってしまった経験を持つ人は少なくないのではないのでしょうか。

さて、本校の校訓はといえば『自主力行』です。わかりやすい言葉で言えば「自ら決めたことを粘り強く最後までやり抜くこと」です。確かにこの言葉は「夏休みをどう過ごすか」と同じように「言うは易く行うは難し」に聞こえてきます。ところが、『自主力行』は簡単ではないですが、人が生きていく上でとても大切なことであることは確かです。だからこそ校訓になっていると言えるかもしれません。



当然計画的に物事を進められる習慣がついている人は素晴らしいです。その習慣をぜひ大切にしてください。しかし、これがむずかしい人には、次のような方法も一つの方法ですから紹介しておきます。3 日ごと、一週間ごと、10 日ごとというように期間を区切って、部活のこと、学習のこと、自分の好きなこと等、三つ程度「やりたいこと」を決め、期間の終わりに達成できたか未達成かを振り返り、できなかったことは少しレベルを落とすなどして工夫し、新たに次の三つの「やりたいこと」の中に組み込んでいく。そして、これを継続する。これを積み重ねることで『自主力行』の習慣をつけてほしいと思います。「自ら決めて自ら行う」ことが大切なのです。